

2021 年度  
(令和 3 年度)

学校関係者評価報告書

2021 年 9 月

学校法人 国際文化アカデミー  
JTB トラベル&ホテルカレッジ

## 1、学校関係者評価

### (1) 目的

- ① 自己評価の評価結果の客観性・透明性を高める。
- ② 専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。

### (2) 評価のポイント

- ① 自己評価結果の内容が適切か
- ② 自己評価結果を踏まえた今後の改善方策が適切か
- ③ 学校の重点目標や評価項目が適切か
- ④ 学校運営の改善に向けた実際の取組が適切か

### (3) 評価期間

2020年度（2020年4月1日から2021年3月31日）

### (4) 評価結果の公表・活用

- ① 評価結果や今後の改善方策等を公表する。
- ② 評価結果を改善方策の検討に活用し、次年度の重点目標の設定や学校運営や教育活動などについて具体的な改善を図る。

### (5) 学校関係者評価委員会の構成

#### ① 学校関係者評価委員 4名

氏名	種別	所属	役職	任期
傳賣 貴子	企業	(株)京王プラザホテル	人事部人事支配人	3年
大原 健晴	地域	巣鴨信用金庫	本店営業部 部長	3年
飯塚 裕美	卒業生	(株) J T B	青葉台店 店長	3年
櫻井 康一	企業	(株) J T B	人財開発チームマネージャー	3年

#### ② 学校関係者評価教職員 6名

氏名	所属	役職
山村 晋一	JTB トラベル&ホテルカレッジ	常務理事 校長
井上 聡	JTB トラベル&ホテルカレッジ	常務理事 総務部長
坂本 友理	JTB トラベル&ホテルカレッジ	理事 教務部長
中村 英明	JTB トラベル&ホテルカレッジ	学生募集部長
栢森 栄一	JTB トラベル&ホテルカレッジ	総務部 部長代理
佐久間 裕行	JTB トラベル&ホテルカレッジ	総務部 総務課長

(6) 学校関係者評価委員会の実施状況

- ① 日時 : 2021年8月30日(月) 14:55~17:20
- ② 場所 : オンライン開催
- ③ 参加者 : 学校関係者評価委員及び学校関係者評価教職員
- ④ 配布資料 : 2020年度自己評価報告書
- ⑤ 議題 : 2020年度の自己評価について

2、実施方法(評価)

(1) 『専修学校における学校評価ガイドライン』に沿って実施した『2020年度自己評価報告書』について、学校関係者教職員から基準毎(1~10)について説明を行った後、学校関係者評価委員が点数化し、その平均点(小数第3位を四捨五入)を記載した。(自己評価についても、各項目の平均点を記載した。)

(2) 基準毎の評価点は下記の通り

- 4点 : 適切
- 3点 : ほぼ適切
- 2点 : やや不適切
- 1点 : 不適切

(3) 学校関係者評価委員からの質問、意見等を記載した。

3、評価結果報告

【基準1】教育理念・目的・人材育成

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
1-01	理念・目的・育成人材像	3.94	4.00

(意見)

- ・ぶれない理念と目的をもとにしつつ、コロナ禍後に求められている市場価値の高い人材増の探求に取り組んでいる。
- ・デジタルマーケティング対応やオンライン講義の拡充等について継続して取り組みを期待する。
- ・デジタルマーケティングは今後必要となる分野なので、学生時代に習得することを進めてほしい。
- ・理念等の浸透度確認については、見える化を意識し具体的な実行を期待する。

【基準2】学校運営

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
2-02	運営方針	4.00	4.00
2-03	事業計画	4.00	
2-04	運営組織	4.00	
2-05	人事・給与制度	4.00	
2-06	意思決定システム	4.00	
2-07	情報システム	3.80	

(意見)

- ・定期的な進捗状況チェックが行われており、しっかりと学校運営がなされている。
- ・環境変化に対する危機感を持ちながら学校運営を行っている。
- ・生徒や職員間の良好なコミュニケーションを更にアピールしてはどうか。
- ・責任意識が高いのはJTBグループ社員・役員が中心だからでは無いのでJTB社員という言葉は使わなくても良いと思う。

【基準3】教育活動

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
3-08	目標の設定	4.00	4.00
3-09	教育方法・評価等	3.96	
3-10	成績評価・単位認定等	4.00	
3-11	資格・免許の取得の指導体制	4.00	
3-12	教員・教員組織	4.00	

(質問・回答)

・(P18) 就職内々定後のモチベーション維持に関して、企業側の理由で内々定を取り消された事例はあったか？

⇒2019年度卒業生が4月になってから、経営が厳しい企業から入社及ばずという事例があった。2020年卒業生については実例無し。

・(P23) 新カリキュラムに連動した教員の募集の確保はいかがか？

⇒2021年度は既存の教職員が対応することでスタートした。2022年度以降のカリキュラム変更に向けては必要だが、既存教員で対応するか？外部講師に依頼するかは悩んでいる。JTB出向者もこれまでとは異なるタイプを希望している。

(意見)

・コロナ禍の休校等、様々な対応が求められた中において、生徒のためにあらゆる取組を実施したことは評価できる。

・コロナウイルス感染症に対して、保健所からの指導に基づき適切に対応されている。

【基準4】学修成果

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
4-13	就職率	4.00	4.00
4-14	資格・免許の取得率	4.00	
4-15	卒業生の社会的評価	2.50	

(意見)

- ・ツーリズム産業の求人見送りや中止の影響にも関わらず、生徒のために最大限アクションを行ったことがうかがえる。
- ・新たな就職先開拓はメリットと捉えるべき。
- ・新たな資格取得者も増えており、更なるチャレンジに期待したい。
- ・就職100%でなくても評価は「4」で良いと思う。
- ・卒業生の受賞状況把握は項目として無理があると思う。卒業生の卒後実態把握、訪問調査は継続してほしい。

【基準5】学生支援

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
5-16	就職等進路	4.00	3.75
5-17	中途退学への対応	4.00	
5-18	学生相談	4.00	
5-19	学生生活	3.69	
5-20	保護者との連携	4.00	
5-21	卒業生・社会人	2.70	

(質問/回答)

- ・(P31) 退学率は業界平均に対してはどうか？  
⇒他の専門学校の状況は把握していない。過去実績としては5%~7%。2020年度はコロナ禍であったこともあるので例年との比較は難しいが、退学率を少なくしていくのは目標。
- ・(P36) 産学連携はやらないといけないのか？  
⇒専門学校は職業人育成が目的なので、企業と連携をとることは必要。学則の中にも記載があり、機会があれば取り組んでいきたい。

(意見)

- ・コロナ禍においても、退学率が大きく変動しなかったことは評価できる。
- ・ツーリズム産業への不安を感じる学生が多い中、退学率は抑えられている。
- ・5-21-2 社会人向け取得講座については、リソースの配分を考慮すると、対応が困難なことは理解するが、継続してチャレンジし続けてほしい。

【基準6】教育環境

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
6-22	施設、設備等	3.56	3.75
6-23	学外実習、インターンシップ等	4.00	
6-24	防災・安全管理	3.80	

(質問・回答)

- ・(P39) バリアフリーの設備に関する問い合わせ等はあるか？  
⇒ここ数年は無い。数年前に車いすの生徒の入学希望があった。実態を正直に説明したところ入学したいとのことだったが、最終的には入学には至らなかった。

(出来る範囲で、教職員が可能な範囲でバックアップする姿勢は評価できる。)

(意見)

- ・ハード面の拡充が困難なことは理解。生徒、特に入学希望者に対しては正確な情報提供を行い、対応の可能性について受け入れの判断を行ってほしい。
- ・防災研修や教育に関して、時間を設けて実施しなくても訓練時に合わせて、数分説明することでも良いと思う。

【基準7】学生の募集と受入

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
7-25	学生募集活動	4.00	4.0
7-26	入学選考	4.00	
7-27	学納金	4.00	

(意見)

- ・コロナ禍の影響により入学者数が大幅に減少したことは理解できる。ツーリズム産業の将来性を説明し積極的に取り組んでほしい。
- ・コロナウイルス感染予防に対応した説明会や受入体制を整えている。受験者や保護者に理解されることが学校への信用度を高めることとなると思われる。
- ・ツーリズム産業の不信感では無く不安感の表現が適正であると認識している

【基準 8】 財務

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
8-28	財務基盤	4.00	4.0
8-29	予算・収支計画	4.00	
8-30	監査	4.00	
8-31	財務情報の公開	3.75	

(意見)

- ・2021 年度以降のコロナ禍における影響を踏まえた適正な管理がされている。
- ・公認会計士の監査による指摘事項はいずれも大切な項目であり、改善に向けた取組に期待する。

【基準 9】 法令等の遵守

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
9-32	関係法令、設置基準等の遵守	4.00	4.0
9-33	個人情報保護	3.50	
9-34	学校評価	4.00	
9-35	教育情報の公開	4.00	

(意見)

- ・コンプライアンスに対して非常に高い意識をもって取り組んでいる。
- ・税理士法人による監査を実施し、改善に取り組んでいる。
- ・個人情報に関して、次年度は、評価「4」を期待している。

【基準 10】 社会貢献、地域貢献、国際交流

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
10-36	社会貢献・地域貢献	2.64	3.75
10-37	ボランティア活動	4.00	

(意見)

- ・コロナ禍による影響により実施できなかったことは致し方ない面はある。「社会貢献。地域貢献」への意識は十分あるので、継続してつながりを保持してほしい。
- ・地域社会との関係性の継続は大事である。
- ・コロナ禍で致し方ない面もあるが、関係性は継続して、機会を見て取り組んでほしい。

【全体を通して】

- ・長引くコロナ禍での学校運営は様々な苦勞があると思う。そのような中でも、教職員が一丸となって前向きに取り組んでいることを評価したい。この困難な中ではあるものの、継続して魅力ある学校としての運営に取り組んでほしい。
- ・先生方が生徒を思う気持ちが本当にすごいと思う。これからも自信をもって学校運営を進めてほしい。
- ・コロナの影響で年間を通して様々な対応してきた様子がうかがえた。弊社も採用担当が学生の不安を払拭するためのサポートとして連絡を取ったりしていた。これからも学校、企業が共にサポートし合いながら進めていけたらと思う。
- ・盆踊りやお祭りが2年連続中止で残念だったが、明るい兆し出てくると思うので、その際は一緒に頑張りたい。引き続き宜しくお願いしたい。このような状況で何かお手伝いできることがあれば遠慮なく教えてほしい。
- ・厳しい状況ですが、一緒にいろんなことを取り組めたらよい。卒業生として巣鴨ボランティアガイドを受けてみたいと思う。

以上